



われらが 成和

校訓「誠実・敬愛・自主」

福井市成和中学校
令和4年度
学校だより第44号
TEL(0776)22-8835
FAX(0776)22-8836

URL <http://www.fukui-city.ed.jp/seiwa-j/>

スクールプランの実現に向け、全生徒・教職員、学校全体で取り組みます

学校経営方針となる「成和中学校スクールプラン」を作成し、「信頼される学校づくり」を基盤に置き、「わかる授業づくり」「居場所づくり・絆づくり」「豊かな心と健やかな体づくり」の3つを重点目標として掲げ、その実現に向けて学校全体で取り組み始めました。

今年度も当面、新型コロナウイルスの影響により、例年どおりの教育活動は困難となることが予想されることから、生徒の学びを止めることなく、「何ができるか、どうしたらできるか」など、生徒自らが「気づき・考え・行動する」ことが求められます。「主体性」を本校教育のキーワードとし、生徒一人一人が知恵を出し合って具体的な実践を行うことにより、子どもの笑顔があふれる学校づくりを進めていきたいと思っております。

令和4年度 福井市成和中学校 スクールプラン

■福井市学校教育目標

郷土福井に誇りを持ち、
たくましく生きる子供の育成

■福井市教育方針

学びをつなぐ・未来につなげる
～「つながる」を大切にした
学校づくり～

■生徒の実態

- ・明るく素朴で素直である
- ・何事にも真面目に取り組む
- ・主体性に欠ける生徒が少ない

■家庭・地域・関係諸機関との連携

- ・家庭・地域・学校協議会の充実
- ・家庭教育力の向上をめざすPTA活動
- ・地域で育む望ましい社会規範意識
- ・生徒の健全育成サポート機関等との連携



めざす
学校像

伝統を大切にし、自他ともに誇れる学校

校訓
誠実
敬愛
自主

教育
目標

国際社会を生き抜く 人間性豊かな生徒の育成

めざす
生徒像

- ・夢や希望を持ち、主体的に学びに向かう生徒
- ・自他を尊重し、教養豊かな生徒
- ・たくましく、粘り強く努力する生徒

以和為貴、何事不成

■めざす教師像と合い言葉

- ・豊かな人間性と人権感覚をもち、生徒との信頼関係を築く教職員
 - ・生徒の良さや可能性を伸ばす教職員
 - ・組織人としての責任感と協調性を有し、互いに高め合う教職員
 - ・「めざす生徒像」の実現に向けた明確なビジョンをもち、諸事徹底する教職員
- ①冷たなくない厳しさと甘やかさない温かさ
②チーム成和

■中学校区教育の推進

- ・小中一貫した児童生徒理解
- ・主体的・対話的で深い学びの充実
- ・いじめを許さない人権教育の推進
- ・小中連携による体力向上の推進
- ・地域に根ざした教育の推進

生徒会テーマ：日本一の学校

<研究主題>

「自ら学び、考え、高め合う生徒の育成」
～学びをつなぎ、主体性を高める場面の設定を通して～

信頼される学校づくり

- ※生徒一人一人を大切にする教育
- ※生徒の良さや可能性を伸ばす教育
- ※保護者や地域住民(電話や来校者含む)への丁寧かつ誠意ある応対
- ※学校・学年通信やブログ等による教育活動に係る情報発信
- ※9年間の学びの一貫性と円滑な小中接続に向けた中学校区教育
- ※地域団体主催行事への積極的な生徒参画と人的資源の有効活用

重点
目標

具体的
取組

わかる授業づくり

■主体的に学びに向かう生徒

- 次の学びへつなぐ
- ・「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた授業
- ・生徒の学習意欲を高める学習課題と教師相互の積極的な授業参観
- ・一貫した学習規律の徹底
- ・ICTを組み合わせた授業の質の向上
- ・基礎基本の定着と家庭学習習慣化

居場所づくり・絆づくり

■相手を尊重し、認め合う生徒

- 生徒の心と心をつなぐ
- ・居場所は教師、絆は生徒がつくる
- ・生徒会や学年・学級における生徒の主体的な活動の推進
- ・人とのつながりを大切に、思いやりや実行力あるリーダーの育成
- ・学校不適応の未然防止と早期発見
- ・集団(学年や学級、部活動等)への所属感と自己有用感の獲得

豊かな心と健やかな体づくり

■規律正しく、たくましい生徒

- 安心・安全な学校につながる
- ・成和五本柱(挨拶、時間、身なり、清掃、聴き方)の徹底
- ・生徒理解に基づく生徒指導と支援
- ・スマートルールの遵守を柱とした情報リテラシー教育の充実
- ・いじめアンケートの月1回実施
- ・基礎体力向上に向けた運動量の確保と食育の推進

学校は生徒個々を大切に【保】90%
学校に気軽に相談できる【保】90%
地域に貢献したい 90%

数値
目標

授業がよくわかる 90%
授業に主体的に取り組む 95%
自分の考えを深め広げる 95%

みんなと何かをするのが楽しい 90%
思いやりをもって協力する 98%
教師は生徒の良さを認める 95%

学校が楽しい 95%
自分で考え・判断・行動する 95%
いじめ解消率 100%

<業務改善>

- ・教員の適正な勤務時間に係る取組等

- 教育課程の見直し
- 学校・学年行事や会議等の精選
- 校内LANによる情報共有とタブレット活用によるペーパーレス化
- 職員退勤時刻(平日午後8時、水曜は午後6時)
- 勤務開始時刻及び登校時刻(7時45分～)と下校時刻(夏季午後6時、冬季5時30分)
- 諸会議60分(最大90分)以内に終了
- 部活動の休業日(水曜ノ～部活動デー)や活動時間の遵守、部活動数の適正化
- 業務推進日(繁忙期は清掃や5・6限授業カット)
- 職員朝礼、一斉家庭訪問の廃止
- 文書事務及び決裁の効率化

修学旅行や校外学習をとおして、仲間との絆を深めました

3年生は、6月1日（水）～2日（木）、福井県内一泊二日にて修学旅行を行いました。天候にも恵まれ、計画どおりの活動メニューを実施し、当初の目的を十分達成することができました。「友と一緒に輝く最高の思い出 楽しさ倍増！～修学旅行は団体戦 in Fukui～」というスローガンの下、参加した生徒全員が全行程を終了することができ、あらためて福井の数々の魅力を再発見できました。

1日目は終日、Tree Picnic Adventure IKEDA（池田町）にて、数々のスリルあるアクティビティ体験を楽しみました。その夜は、芦原温泉にて仲間と寝食を共にし、レクリエーションではビンゴゲームで盛り上がり、何より会話を楽しんで仲間との絆を深めました。2日目は、松島水族館やレインボーライン山頂公園を訪れた後、午後は、「若狭美浜はあとふる体験」を6つのプログラムに分かれて楽しみました。

旅行中、生徒の成長ぶりを感じさせる場面が多々見られ、挨拶や時間、身なり、話の聴き方など、日頃の学校生活で心がけている成果を随所で発揮することができ、「みんなで何かをやることって楽しいな」と感じさせる二日間でした。コロナ感染防止対策を徹底させた中での修学旅行であったため、さまざまな制限がありましたが、その中にありながらも、生徒一人一人が集団行動を意識し、仲間とともに精一杯楽しめた旅行となりました。



2年生は、6月2日（木）、校外学習として芝政ワールドにて、学年レクリエーションやアトラクションで、仲間と思い切り楽しみました。「ワンランクUP～広がれ！我らの挑戦魂～」をスローガンに、大変有意義な日を過ごすことができました。

1年生も、同日に、自然豊かな奥越高原青少年自然の家でオリエンテーリングを行い、昼食後は、奥越ふれあい公園で学年レクリエーションを楽しみました。「F (Friendly) I (Interesting) R (Rule) E (Enjoy)～心を燃やせ！1年魂～」をスローガンに、大変充実した日を過ごすことができました。

1～3年生とも、実行委員の生徒の皆さん、企画から当日の運営までお疲れさまでした。また、修学旅行及び校外学習の実施にあたり、保護者の皆様には多大なるご理解とご協力を賜り深く感謝申し上げます。

